

## 富山県循環器病対策推進計画骨子（案）

国基本計画の構成	富山県循環器病対策推進計画の構成（案）
1 はじめに	第1章 計画策定の趣旨等
	1 計画策定の趣旨
	2 計画の位置づけ
	3 計画の期間
2 循環器病の特徴並びに循環器病対策に係るこれまでの取組及び課題	第2章 現状と課題
3 全体目標	第3章 全体目標
健康寿命の延伸、年齢調整死亡率の減少 (1) 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発 (2) 保健、医療、福祉に係るサービスの提供体制の充実 (3) 循環器病の研究推進	健康寿命の延伸、年齢調整死亡率の減少 1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発 2 保健、医療、福祉に係るサービスの提供体制の充実 3 循環器病の調査・研究推進
4 個別施策	第4章 個別施策
循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備	▶（3 循環器病の調査・研究推進に含む）
(1) 循環器病の予防や正しい知識の普及	1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発
(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実
① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進 ・ 特定健診、特定保健指導の普及や実施率向上	1) 循環器病を予防する健診の普及 ・ 特定健康診査受診率の向上や適切な保健指導の実施のための関係機関との連携の推進
② 救急搬送体制の整備 ・ 救急現場から医療機関に、より迅速かつ適切に搬送可能な体制の構築	2) 救急搬送体制の整備と救急医療体制の確保 ・ 症状出現時の迅速な救急搬送の要請等に関する普及啓発 ・ 関係機関と連携したメディカルコントロール体制の充実 ・ 来院後速やかに専門的な治療を開始できる体制整備
③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築 ・ 地域の実情に応じた医療提供体制構築	3) 急性期から回復期、維持期への医療提供体制の構築 ・ 地域連携クリティカルパスの作成、普及の促進
④ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援 ・ 多職種連携、地域包括ケアシステム構築の推進	4) リハビリテーション等体制整備の充実 ・ 医療、介護、福祉が連携し「地域包括ケアシステム」の実現 ・ 適切で切れ目ないリハビリテーション提供体制整備
⑤ リハビリテーション等の取組み ・ 急性期～回復期、維持期等の状態や疾患に応じて提供する等の推進	
⑥ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援 ・ 科学的根拠に基づく正しい情報提供、患者が相談できる総合的な取組	5) 循環器病の緩和ケア ・ 多職種連携、地域連携のもと、適切な緩和ケアを初期から推進
⑦ 循環器病の緩和ケア ・ 多職種連携、地域連携のもと、適切な緩和ケアを初期から推進	6) 相談支援及び情報提供 ・ 正しい情報提供及び相談体制の整備
⑧ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援 ・ 手足の麻痺・失語症・てんかん・高次脳機能障害等の後遺症に対し支援体制整備	7) 循環器病の後遺症を有する者に対する支援 ・ 手足の麻痺・失語症・てんかん・高次脳機能障害等の後遺症に対し支援体制整備
⑨ 治療と仕事の両立支援・就労支援 ・ 患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援、就労支援等の取り組み推進	8) 治療と仕事の両立支援・就労支援 ・ 患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援、就労支援等の取り組み推進
⑩ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策 ・ 小児期から成人期にかけて必要な医療を切れ目なく行える体制整備	9) 小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策 ・ 小児期から成人期にかけて必要な医療等を切れ目なく行える体制整備
(3) 循環器病の研究推進 ・ 基礎研究から診断法・治療法等の開発に資する実用化に向けた研究までを産学連携や医工連携を図りつつ推進 ・ 根拠に基づく政策立案のための研究の推進	3 循環器病の調査・研究推進 1) 診療データの収集・分析 2) 本県の特徴を踏まえた研究推進
5 循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項	第5章 計画の推進体制
(1) 関係者等の有機的連携、協力の更なる強化	1 関係者等の有機的連携、協力の更なる強化
(2) 都道府県による計画の策定	2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策
(3) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化	3 計画の評価・見直し
(4) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策	
(5) 基本計画の評価・見直し	